

## CSV カッター4号 for ブログ

CSV カッター4号 for ブログは、CSV カッター4号をブログのインポート形式に対応させたバージョンです。

ブログへのインポート用ですので、ブログ以外の場合には、通常の CSV カッター4号をお使い下さい。

それでは、CSV カッター4号 for ブログについて説明します。

まず、CSV カッター4号 for ブログを立ち上げてもらうと、以下のような画面が表示されます。

htmlのテンプレートを読み込んで下さい。 csvから変換したhtml(例:cutter3go.html)を読み込んで下さい。

置換

クリア データ読み込み

ランダム1 20 ランダム2 20 ランダム3 20

1 10 19 27 35 43

2 11 20 28 36 44

3 12 21 29 37 45

4 13 22 30 38 46

5 14 23 31 39 47

6 15 24 32 40 48

7 16 25 33 41 49

8 17 26 34 42 50

9 18

開始日 2010 01 01

保存

Copyright 2012 Masafumi Nakatani.

ほぼ、CSV カッター4号と同じですが、ブログ形式なので、puny、日本語、listといったhtml形式の選択肢はありません。

その代わりに、「2010」「01」「01」のようにブログの開始日の選択肢があります。

この開始日は、テンプレートで、「DATE: date-time-plus」のように設定してもらうと、一番上が設定した開始日になり、それ以降は、1日プラスされ、時刻はラ

ンダムで使われます。

例えば、2012年07月27日を開始日にすると、

**DATE: 07/27/2012 10:59:41**

**DATE: 07/28/2012 22:17:02**

**DATE: 07/29/2012 10:25:31**

のように出力されていきます。

開始日の日にちは都合上、1～28日までです。

その他、ソフトの使い方は、CSVカッター4号と同じですが、テンプレートで、「CATEGORY: randum-1」のように設定してもらって、カテゴリにランダム要素を使ってもらおうと、同一カテゴリに投稿ということにならなくていいです。

カテゴリにランダム要素を使う場合には、当然ですが、個数は20とかではなく、1を選択して下さい。

あと、カテゴリを使う場合には、予めブログでカテゴリを設定しておいた方がいい







いかと思います。

一応、カテゴリがない場合は新設するようなのですが、私が試した限りでは、6個中、3個だけカテゴリが新設されるなど、上手くいかないことが多かったです。

カテゴリの新設ができなかった場合には、メインのカテゴリに投稿が移っていました。

インポートに関してはブログの状況によって、たまに失敗することもありますので、そういった場合には一度投稿を削除して、もう一度、インポートするなりして下さい。

CSV カッター4号 for ブログが出力するファイルは、**blog-euc.html**、**blog-euc.txt**、**blog-shiftjis.html**、**blog-shiftjis.txt**、**blog-utf8.html**、**blog-utf8.txt** になっています。

 blog-euc.html	2012/09/01 14:48	HTML ドキュメント	77 KB
 blog-euc.txt	2012/09/01 14:48	テキスト ドキュメント	78 KB
 blog-shiftjis.html	2012/09/01 14:48	HTML ドキュメント	77 KB
 blog-shiftjis.txt	2012/09/01 15:00	テキスト ドキュメント	74 KB
 blog-utf8.html	2012/09/01 14:48	HTML ドキュメント	95 KB
 blog-utf8.txt	2012/09/01 14:48	テキスト ドキュメント	91 KB

html ファイルについては、画像などを確認する場合にお使い下さい。改行コードは **html** タグに変換しています。

また、文字コードは、**blog-euc.html**、**blog-euc.txt** が EUC-JP、**blog-shiftjis.html**、**blog-shiftjis.txt** が Shift-jis、**blog-utf8.html**、**blog-utf8.txt** が UTF-8 になっていますので、Shift-jis 以外はメモ帳ではなく、TeraPad などで開いて編集するようにして下さい。

シーサーブログは、インポート時に文字コードを選択できますので、お好きなものをお使い下さい。

基本的にはメモ帳でそのまま編集できる Shift-jis がいいかと思います。

また、FC2 ブログは、EUC になっていますので、**blog-euc.txt** をインポートして下さい。

EUC 形式を編集する場合には、TeraPad などをお使い下さい。

シーサーブログと FC2 ブログ以外については、そのブログの形式に合わせて下さい。

基本的に MT 形式は大体一緒ですので、シーサーブログ形式のテンプレートを使えば問題ないかと思います。

```
AUTHOR: 著者名
TITLE: keyword-goku
STATUS: Publish
ALLOW COMMENTS: 0
CONVERT BREAKS: 0
ALLOW PINGS: 0
PRIMARY CATEGORY:
CATEGORY: random-1
DATE: date-time-plus

BODY:
chikan-text<br />
<br />
情報商材を販売しているインフォブレイナーには、random-2中谷昌文などがあります。<br />
<br />
また、その他の情報商材には、random-3CSVカッターなどがあります。<br />

EXTENDED BODY:

EXCERPT:
KEYWORDS:
```

ブログで使っている名前

『 』内のキーワードを使う場合にこう記述

Publishは投稿済み、COMMENTS、BREAKS、PNGSは1でも構わないけど、無いので、0に設定。

大抵は不要

カテゴリにランダム要素1を使う場合はこう記述

日には固定してもいいですが、こう記述することで設定が反映されます。

BODY内に本文が来ます。従来のCSVカッター4号と同じなので、chikan-textなどの説明は省略。

特に記述は不要です。

※注意：コロンの後には必ず半角スペースを入れて下さい。

正解→ AUTHOR: 著者名  
ダメ→ AUTHOR:著者名

どんな無料ブログでも、一度データをエクスポートして形式を見ることで、テンプレートを自作さえすれば、対応させることができます。

ただし、テンプレートは Shift-jis で作成するようにして下さい。

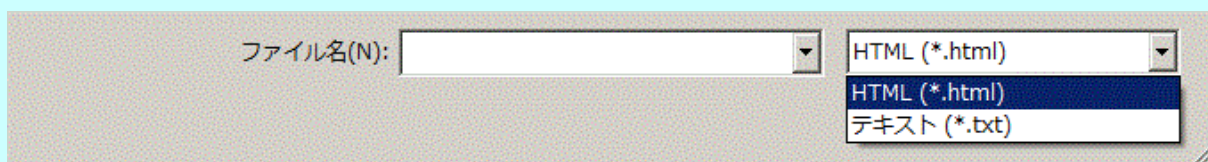
CSV カッター4号 for ブログでは Shift-jis で処理し、出力の時に各エンコードでファイルを作成します。

ワードプレスについてもできると思いますが、試してはいません。

ワードプレスは MT 形式もインポートできるようですので、UTF8 形式のものをインポートすれば 恐らく問題ないと思います。

あと、このバージョンから html ファイルだけでなく、txt 形式も読み込み可能になっています。

デフォルトでは、「.html」形式になっていますので、「.txt」を読み込む場合は、ファイルの種類を選択して下さい。



---

### 【元の制作環境】

**OS: Windows Xp(32ビット)**

**CPU: Athlon64 2GHz**

**メモリ: 1GB**

**HDD: 200GB**

### 【改良&コンパイル環境】

**OS: Windows7 Home 64ビット**

**CPU: CORE i7**

**メモリ: 8GB**

**HDD: 500GB**

### 【制作ソフト】

• **HC-wbRAD for PHP Version 1.2 ( PHP-5.2.13)**

• **HC-Standalone-B for PHP Version 1.8 ( PHP-5.2.13)**

各ソフトウェアのフォルダに、The PHP のライセンス(PHP-License.txt)と  
WINBINDER のライセンス(WinBinder-License.txt)を添付しています。

---

販売者名: 中谷昌文

住所: 〒640-8323 和歌山県和歌山市太田3-9-5-306

メールアドレス: [vedecch.help@kagoya.net](mailto:vedecch.help@kagoya.net)

メルマガ: <http://archive.mag2.com/0000279911/index.html>

販売 URL: <http://csv-cutter.info>

電話番号: 050-3440-1855

---

